

中高一貫部

高1

夏期講習

中高一貫校生を対象に、夏期講習を実施します。長期休暇は将来の大学入試に向けて大きく実力を伸ばす絶好のチャンスです。ぜひしっかり活用して弱点補強や発展演習に取り組み、万全の力を身につけてから次の学期を迎えましょう。

なお、中高一貫部の季節講習では、講習終了後には以後の学習に役立つ講評をお届けします。

英進館中高一貫部の季節講習はオンラインでの受講も可能です

設定講座

第2期

8/1(火)~
8/4(金)

10:00~12:00	情報
13:00~15:00	英語総合演習
15:20~17:20	数学総合演習

第3期

8/8(火)~
8/11(金)

13:00~15:00	国語	英検 [®] 準2級対策
15:20~17:20	数III基礎	英検 [®] 2級対策

第4期

8/16(水)~
8/20(日)

13:00~15:00	英検 [®] 準2級対策	情報
15:20~17:20	英検 [®] 2級対策	

※第4期は8/19(土)を除きます。

※どの講座も120分授業×4回です。講座名が同じ場合は同内容です。

※受講者数が多い場合、同じ期に英語・数学両方を受講する人は、英語・数学の順序が逆となる場合があります。

※英検[®]は、公益財団法人日本英語検定協会の登録商標です。

※このコンテンツは、公益財団法人日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

申し込み方法

教室

英進館天神本館2号館 (福岡市中央区渡辺通4-8-20(西鉄福岡(天神)駅徒歩3分))
もしくはオンライン受講

受講料

1講座につき11,000円 (1講座120分授業×4回, 教材費・税込み)
※中高一貫部の季節講習は各種割引の対象外です。

お問い合わせ

092-718-0053 (英進館中高一貫部)

締切

申込締切は7/22(土)です。締切後の追加・変更・キャンセルは承れません。
なお、定員により早めに締め切る可能性があります。

教材

オンライン受講の場合は事前に郵送します。教室受講の場合は初日に配付します。

お申し込み

下のURLまたは右のQRコードからお申し込みください。
<https://bit.ly/2023h1s>
折り返し、申し込みの確認メールをお送りします。



オンライン受講

中高一貫部の季節講習は、オンラインでの受講も可能です(中継参加)。

お申し込みの際にオンライン受講を選ばれた場合は、事前に教材をお送りし、授業の中継への参加方法をご案内いたします。

教室参加の場合もオンライン受講の場合も、受講料は同じです。また、オンライン受講にはインターネット環境、マイク・カメラつきのパソコンまたはタブレットが必要です。通信ではzoomを用います。参加方法の詳細は、教材と合わせてお届けします。

高1の学習目標

英語・数学の土台を完成させる

高2になると、文系は地歴、理系は理科の学習を本格化させなければいけません。そのぶん、英語・数学の学習にかけられる時間は減っていきます。高2以降の学習を順調に進めていくためには、高1のうちに英語・数学の土台を固めてしまうことが絶対に必要です。「土台を固める」といってもいろいろなレベルがありますが、たとえば次のような目標を意識しましょう。

- 英語：大学入試基本レベルの単語帳を1冊クリアする。文法で未習単元をなくす。かつての大学入試センター試験レベルの文法問題や読解問題、リスニング問題なら8割以上は得点できるというレベルに到達する。
- 数学：数学I・A・II・Bで未習単元をなくす。「教科書の章末問題程度ならまったく苦勞せずにすらすら解ける」というレベルに到達する。大学入学共通テストの数学は難化したが、かつての大学入試センター試験レベルなら試験時間内に8割以上は確保できるようになる。

入試が近づいてくると、みな学習に力を入れるようになります。問題は、その時期になる前にどれだけの力を身につけているかです。「入試前の追い込みで逆転」といったことはほとんど起こりません。大学入試は受験学年を迎える前に勝負がついていると考えましょう。今の学習こそが合否を左右するのです。

英語総合演習

高校英文法の中では、「比較」はボリュームが多く、文法問題・作文問題・和訳問題のいずれでも苦戦しがちな分野です。そこで、夏期講習では比較の単元を総整理するとともに、この単元の内容を含む文法語法・作文・和訳の発展問題に取り組みます。日頃学んでいる文法事項が入試問題でどのように応用されるのかを掴むことができる講座です。

数学総合演習

テスト演習形式で、国公立大学入試で出題される数学の基本～標準レベルの問題に毎回取り組みます。出題範囲は文理共通範囲（数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）で、「旧帝大や医学部といった難関大学の入試で出題されたなら決して落とせないレベル」の問題ばかりです。答えは添削・採点して返却します。この講座で二次試験に向けた実戦力を養いましょう。

数Ⅲ基礎

中高一貫部では高1の4月から、理系志望者を対象に数Ⅲの学習を進めています。難関大学の二次試験では、「数学の配点の半分かそれ以上が数Ⅲからの出題」というケースも多く、数Ⅲの達成度が合否に直結すると言っても過言ではありません。数Ⅲは考え方や計算手法が難解で、習得に苦労する人も多いのですが、しかし、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに比べると、ひらめきやセンスを要する難問は少なく、早めから対策を進めて基本手法を身につけておけば十分得点源とすることができます。この講座では、1学期に学んだ極限・微分法の考え方を基本から振り返り、数Ⅲの前半部分について確固たる土台を固めていきます。

※この講座では、最終日に復習テストを実施します。

※理系志望で数Ⅲが未習の人、中高一貫部でふだん数Ⅲを受講しているが既習事項でまだ理解不十分な内容が残っているという人はぜひ受講してください。ふだん数Ⅲを受講していて理解が順調な人は受講不要です。

古文単語強化&古文読解基礎力養成講座

「古文単語強化&古文読解基礎力養成講座」と題して、4日間にわたって古文の単語力と古文読解の基礎的な力を鍛えます。

大学入試の古文は、ただ文法を身につけただけでは太刀打ちできません。文法に加えて、古文独特の単語や、「現代語と同じような見た目だが意味はまるで違う」という言葉をしっかり習得しておかなければいけません。たとえば、「ありがたし」、「いなり」、「あからさまなり」、「あさまし」などといった語句の意味は、もう身につけているでしょうか。こうした基本レベルの古典単語でつまづいているようでは、古典は苦手なままになってしまいます。まずは確固たる語彙力が大切です。

それから、古文の文章読解や設問に取り組むうえでは、現代文とは一部違ったアプローチをしなければならぬ面があり、こうした部分でも点差がつきます。知識の習得だけでなく、「解き方」もマスターしていくべきです。

さらに、大学入学共通テストは時間制限が非常に厳しいため、実戦では古典をいかに素早く解き終わって現代文に時間を回せるかという観点も重要です。短時間で素早く解くためには、演習量や解き方のコツが大切でしょう。大学入試タイプの問題演習や模試で苦戦している人、古文の得点の伸ばし方がイメージできていない人は、ぜひこの講座を積極的に受講しましょう。以後の実力養成に大きく役に立つはずです。

中高一貫部の季節講習では、英検®2級対策・準2級対策の講座を設置しています。

英検®では「読む・聞く・書く・話す」の4技能がバランスよく問われていますが、この講座では主に、語彙や文法語法、読解、作文といった要素について対策を進めます。

●英検®2級対策

準2級を取得していて、今後2級を受験予定の生徒を対象とした講座です。

過去に出題されたのと同レベルの語彙・文法語法問題・読解問題・作文問題を扱います。講習では、2級レベルの語句を200以上扱うとともに、差がつきやすい文法・語法を整理します。また、読解演習を通じて英文を読む精度とスピードを伸ばします。作文については過去問と類似のレベルの問題を扱い、答えは添削して返却します。当然ながら、大学入試に向けての英語力養成にも大きく役立つ講座です。

●英検®準2級対策

3級を取得していて、今後準2級を受験予定の生徒を対象とした講座です。

過去に出題されたのと同レベルの語彙・文法語法問題・読解問題・作文問題を扱います。講習では、準2級レベルの語句を200以上扱うとともに、差がつきやすい文法・語法を整理します。また、読解演習を通じて英文を読む精度とスピードを伸ばします。作文については過去問と類似のレベルの問題を扱い、答えは添削して返却します。当然ながら、大学入試に向けての英語力養成にも大きく役立つ講座です。

※この講座は学年をまたいで実施します。したがって、申し込み人数によっては他学年の生徒も一緒に受講します。

※教材は過去の同名講座の内容を増補改訂したものですので、かなりの程度は過去の講座と同内容です。

※英検®は、公益財団法人日本英語検定協会の登録商標です。

※このコンテンツは、公益財団法人日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

新高2生から、国公立大学の入試において、大学入学共通テストの「情報Ⅰ」が必須となることが決まりました。英進館グループでは、「情報Ⅰ」のすべての教科書、大学入試センター発表のサンプル問題、その他さまざまな資料を分析・研究して、いち早く対策講座を設定しました。高校課程の「情報Ⅰ」で学ぶ内容は、大学入試で必要となっただけでなく、現代社会を生きるうえで欠かせないものばかりであり、ここで身につけたコンピュータリテラシー、ITについての理解、数理的思考力といったものは、社会人となってからも大きく役立つはずです。ぜひ主体的に身につけていきましょう。

中高一貫部の季節講習では、夏・冬・春の3回に分けて、「情報Ⅰ」の内容全体を概観します。それぞれの講習で扱う内容は、おおよそ次のように予定しています。

●夏：問題の発見と解決方法、情報のモラル、コミュニケーション手段、デジタル表現

●冬：情報デザイン、コンピュータの活用、プログラムの基本構造、モデル化とシミュレーション

●春：ネットワークとインターネット、情報セキュリティとデータベース、情報システムとデータの管理・収集・整理・分析
なお、「情報Ⅰ」もぜひ早めから学んでいってほしいところですが、入試の配点や教科の奥深さ・学習の負担を考えると、みなさんがまず優先して学ぶべきなのはなんと言っても英語・数学です。英語・数学の学習が順調だという場合のみ、この講座の受講を検討してください。

※この講座は学年をまたいで実施します。したがって、申し込み人数によっては他学年の生徒も一緒に受講します。